

# 週 報

1987年9月13日 聖霊降臨節第15主日

巻 8 24号

1987年度教会主題

「世の光、イエスに従う」

わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみの  
うちを歩くことがなく、命の光をもつてあろう。

ヨハネによる福音書8章12節

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

会 堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目 8-29

☎ 045-833-5323

振替 横浜 9-13994

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目 6-3-304

☎ 045-833-6616

牧師 **秋 吉 隆 雄**

受け入れることであると明快に語っている。これが、ヨハネ福音書そして聖書全体の基本的な主張である。時代の価値に縛られた、もっともらしい勧めは空しい。イエス・キリストを神の子と信じるに、真の自立と自由がある。イエス・キリストを信じます、後はよろしくお導き下さい。この信仰に生き生きと生きられる解放の秘密があり、これが福音である。

ただ、この信仰が自己正当化、あるいは甘えに墮する時、イエスの示された愛とは違う反社会的、反歴史的な形になる。アメリカで黒人の公民権獲得のため闘ったキング牧師と、黒人差別を正当化する南アフリカ連邦の白人教会は、両方ともクリスチャンである。今日、キリスト教とは何なのかが、厳しく問われている。それは、どんなイエスを、どんなふう信じることかである。イエスを信じる解放された心で、この時代との関わりを真摯に求め続けたい。

—牧師室から—

6日(日)教会学校夏期キャンプと九州への旅行のため、この教会での礼拝を二回休んだ。久し振りの礼拝のように感じたが、ここが一番落ち着き、ここが私の場だと思った。

イエス・キリストは、「神のわざを行うために、わたしたちは何をしたらよいでしょうか」という問に対し「神がつかわされた者を信じるのが、神のわざである」と答えている。神のわざを行うことは倫理的に何か立派なことをすることではなく、神がつかわされた神の子イエス・キリストを信じ